



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	51,504	△6.9	1,267	△49.5	1,538	△44.7	570	△64.3
26年3月期第1四半期	55,330	8.1	2,511	△19.6	2,779	△19.7	1,597	△25.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 649百万円(△60.7%) 26年3月期第1四半期 1,655百万円(△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.19	ー
26年3月期第1四半期	38.99	38.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	158,595	46,575	29.1
26年3月期	173,393	47,621	27.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 46,099百万円 26年3月期 47,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	48.00	48.00
27年3月期	ー				
27年3月期(予想)		0.00	ー	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,000	13.2	5,000	3.2	5,400	1.6	3,000	0.9	74.62
通期	280,000	8.0	14,600	5.4	15,000	1.7	8,800	3.2	218.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	41,440,700株	26年3月期	41,440,700株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,235,515株	26年3月期	1,235,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	40,205,185株	26年3月期1Q	40,972,421株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げによる消費の落ち込みが懸念されたものの、政府の経済政策・金融緩和の継続等により、結果として緩やかな回復基調が継続いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬改定の実施により、医療機関の機能分化、地域連携、在宅医療の強化が促されることとなり、これに対応した医療施設の運営合理化がより求められる状況となっております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、昨年度M&Aを実施した医療機器・消耗品販売会社の業績が寄与いたしました。トータルパックプロデュース事業において大型プロジェクト案件の計上が少なかったこと、ヘルスケア事業において介護施設の立ち上げに伴う先行費用が計上されたこと、調剤薬局事業において薬価改定や消費税率改正の影響を受けたこと等から低調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は51,504百万円（前年同四半期連結累計期間比6.9%減）、営業利益は1,267百万円（前年同四半期連結累計期間比49.5%減）、経常利益は1,538百万円（前年同四半期連結累計期間比44.7%減）、四半期純利益は570百万円（前年同四半期連結累計期間比64.3%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、海外展開に向けた足がかりの構築が進んだものの、大型プロジェクト案件の完成は例年以上に下期に偏重する見込みであり、当第1四半期における完成案件は少ないながらも計画通りの進捗となりました。

この結果、売上高は11,461百万円（前年同四半期連結累計期間比33.8%減）、セグメント利益（営業利益）は632百万円（前年同四半期連結累計期間比63.6%減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、昨年度に受託したSPD施設や、M&Aの実施により増加したグループ会社の業績が寄与したこと等から順調に推移いたしました。

この結果、売上高は29,583百万円（前年同四半期連結累計期間比6.2%増）、セグメント利益（営業利益）は418百万円（前年同四半期連結累計期間比7.3%増）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、一部有料老人ホームの運営が立て直し中であること、グリーンライフ仙台をはじめとした新規施設やデイサービス拠点の立ち上げ先行費用を計上したこと等により低調に推移いたしました。

この結果、売上高は4,864百万円（前年同四半期連結累計期間比4.8%増）、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同四半期連結累計期間はセグメント利益（営業利益）86百万円）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、昨年度からの新規店舗の開設に伴い店舗数が増加したこと等から増収となりましたが、薬価改定や消費税率改正の影響等から、利益率は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,402百万円（前年同四半期連結累計期間比1.6%増）、セグメント利益（営業利益）は264百万円（前年同四半期連結累計期間比33.9%減）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は低調に推移した一方、理化学機器の販売については計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は191百万円（前年同四半期連結累計期間比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は270百万円（前年同四半期連結累計期間比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は158,595百万円となり、前連結会計年度末と比べて14,798百万円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物（純額）が4,176百万円、賃貸不動産（純額）が1,593百万円、現金及び預金が1,127百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が25,609百万円減少したこと等によるものであります。

負債は112,020百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,751百万円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が11,374百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が21,638百万円、短期借入金が4,457百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は46,575百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,046百万円減少いたしました。その主な要因は、四半期純利益により利益剰余金が570百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が1,929百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は29.1%（前連結会計年度末比1.9ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成26年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首における退職給付に係る負債が233百万円減少し、退職給付に係る資産（投資その他の資産「その他」）が132百万円、利益剰余金が232百万円それぞれ増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,278	23,406
受取手形及び売掛金	70,955	45,345
電子記録債権	830	843
商品及び製品	7,805	8,340
仕掛品	1,575	1,876
原材料及び貯蔵品	858	816
その他	8,778	13,785
貸倒引当金	△122	△126
流動資産合計	112,959	94,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,521	13,697
土地	8,455	8,455
建設仮勘定	2,439	172
賃貸不動産（純額）	10,922	12,516
その他（純額）	1,836	2,318
有形固定資産合計	33,176	37,160
無形固定資産		
のれん	10,385	10,145
その他	696	905
無形固定資産合計	11,081	11,050
投資その他の資産		
長期貸付金	7,718	7,347
その他	10,365	10,664
貸倒引当金	△1,908	△1,915
投資その他の資産合計	16,175	16,096
固定資産合計	60,433	64,307
資産合計	173,393	158,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,484	50,846
電子記録債務	1,154	2,593
短期借入金	6,687	2,230
未払法人税等	3,927	861
賞与引当金	1,555	1,935
その他	12,073	14,139
流動負債合計	97,884	72,606
固定負債		
社債	2,650	2,560
長期借入金	20,245	31,620
退職給付に係る負債	2,038	1,825
資産除去債務	245	251
その他	2,708	3,156
固定負債合計	27,887	39,413
負債合計	125,771	112,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855	5,855
資本剰余金	10,224	10,224
利益剰余金	32,461	31,334
自己株式	△2,349	△2,349
株主資本合計	46,192	45,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	876
為替換算調整勘定	126	145
退職給付に係る調整累計額	26	11
その他の包括利益累計額合計	981	1,034
少数株主持分	447	475
純資産合計	47,621	46,575
負債純資産合計	173,393	158,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	55,330	51,504
売上原価	48,075	44,934
売上総利益	7,255	6,569
販売費及び一般管理費	4,744	5,302
営業利益	2,511	1,267
営業外収益		
受取利息	90	81
受取配当金	29	40
負ののれん償却額	164	164
持分法による投資利益	12	12
その他	69	93
営業外収益合計	368	393
営業外費用		
支払利息	84	91
その他	15	30
営業外費用合計	99	121
経常利益	2,779	1,538
特別利益		
固定資産売却益	1	2
補助金収入	—	14
その他	—	0
特別利益合計	1	17
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	0	7
自己株式取得費用	51	—
その他	—	2
特別損失合計	52	17
税金等調整前四半期純利益	2,728	1,538
法人税、住民税及び事業税	1,099	975
法人税等調整額	20	△29
法人税等合計	1,120	946
少数株主損益調整前四半期純利益	1,607	592
少数株主利益	10	21
四半期純利益	1,597	570

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,607	592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	47
為替換算調整勘定	9	24
退職給付に係る調整額	—	△14
その他の包括利益合計	47	57
四半期包括利益	1,655	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,642	623
少数株主に係る四半期包括利益	12	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,303	27,866	4,643	5,318	55,130	200	55,330	—	55,330
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	197	117	1	—	317	2	319	△319	—
計	17,501	27,983	4,644	5,318	55,447	202	55,650	△319	55,330
セグメント利益	1,738	389	86	399	2,614	30	2,644	△133	2,511

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△133百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,461	29,583	4,864	5,402	51,312	191	51,504	—	51,504
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	276	187	5	—	469	5	474	△474	—
計	11,737	29,771	4,869	5,402	51,781	197	51,978	△474	51,504
セグメント利益 又は損失(△)	632	418	△2	264	1,312	27	1,340	△72	1,267

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。